

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		合志市小規模治山事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	15	防災対策の推進			所属課	農政課	担当者名	米岡 美咲
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市小規模治山事業補助金交付要綱		
	一般	6	2	1	11497	法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	土砂災害により被害が発生するおそれのある人家が伴う危険箇所において、人命・財産を未然に防止するため国、県の補助対象とならない小規模治山事業を実施する者に対し、要綱に定めるところにより、予算の範囲内において補助金を交付する。
【業務の流れ】	建物が2戸に渡って土砂災害の危険性を有する箇所、かつ合志市地域防災計画書に掲載された急傾斜山腹箇所をその所有者が改善する100万円以下の事業を行う際、その所有者が本事業申請を行い、要綱の定めるところにより補助金を交付する。補助率：事業費の1/2以内
【主な予算費目】	負担金、補助及び交付金
【意見や要望】	未然に防止することは大事だが、なかなか予測がつかないので対応できない。被害が起きた後も柔軟に対応してほしい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動) (DO)	令和4年度は0件だった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		現時点での要望無し
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
ア 申請件数	件	
イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 戸	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(土砂災害の危険性を有する箇所に住む市民)	戸	ア 市指定急傾斜山腹箇所戸数
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 戸	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
土砂災害危険箇所を改善する。	戸	ア 土砂災害危険箇所を改善できた戸数
		イ
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア 戸	戸	129	129	129	129	129	129	129	129
	イ									
③ 成果指標	ア 戸	戸	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
入費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	2	1	1	1	1	1	1	1
量	延べ業務時間	時間	40	30	40	30	40	40	40	40
	(B) 人件費計	千円	157	117	159	114	159	159	159	159
	トータルコスト(A)+(B)	千円	157	117	159	114	159	159	159	159

事務事業名	合志市小規模治山事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 申請がなかったため。
	② 5年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 現時点では、把握できないため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 土砂災害を未然に防ごうとして事業に取り組む市民がいれば向上する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <small>☞</small> (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国、県の補助対象とならない合志市独自の事業となるので他に手段はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 仕様や工法を適正に行うことで削減できる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 工法等の確認を建設課等に協力してもらい人件費の削減を行う。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民の生命財産被害を最小限度に抑えることから市負担が1/2、受益者負担が1/2であり公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付事務のため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

災害を未然に防ごうとして事業に取り組む市民がいれば、成果達成が見込める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						